

第29回沖縄県中学校空手道競技大会

監督会・審判会議資料

1. 競技方法

【形競技】

ア. トーナメントのフラッグ方式とする。

イ. 使用できる形は以下のとおりとする。

A. 1・2回戦（ベスト16まで）：全空連第1指定形または基本的な形

「基本的な形」とは全空連指定の「基本形」ではなく、道場で習っているサンチン、ナイハンチ（鉄騎）、ゲキサイ、ピンアン（平安）が使用できる。

B. 準々決勝：全空連第2指定形

C. 準決勝・決勝：競技形（準々決勝以前で使用した形でも可とする）

ウ. 個人戦においては、準々決勝から個別演武とし、事前に形名を申告する。それまでは同時演武とし、事前の形名の申告は不要とする。

⇒演武中の明らかな中断、停止があった場合は違反となるが、2名同時演武の際に接触を避けるため、停止することは認める。

【組手競技】

ア. 6ポイント差

イ. 個人戦：1・2回戦（ベスト16まで）は1分間。準々決勝以降は1分30秒間とする。

団体戦：初戦は1分間で全員試合を行うが、以降は1分30秒とし、勝敗が決し次第終了。

ウ. 安全具は全員着用し、貸し借りは禁止とする。

エ. 団体戦で双方2名の場合、オーダーは先詰めとする。

オ. 開始前や開始後の礼をする際、お互い合わせるよう努力する。

2. その他

① 外部コーチもコーチボックスに入ることができる。（2名座ることもある）

② 監督・コーチの指示は審判の「止め」から「はじめ」の間のみとする。また、選手への声掛け等は、選手たちへのリスペクトを忘れてはいけない。

③ ルール等の異議申し立ては次の試合が始まる前までに行うことができる。ただし、判定については抗議することはできない。（プロテストはありません）

④ 参加選手は空手着左胸に団体名（マーク）がなくてはならない。

⑤ 組手競技において、連続して試合がある場合は、1分間の休息が与えられる、但し色の変更がある場合は、2分間の休息が与えられる。形競技においては、赤⇒青の順で演武するため、その対象ではない。

⑥ 競技開始時間は目安となっているため、試合進行には留意すること

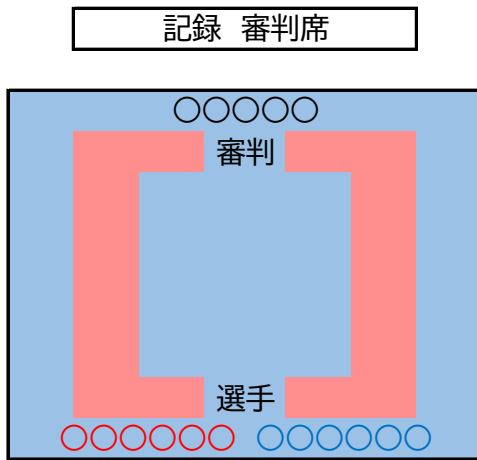
ア. 「3回ルール」：試合開始時に選手名を「3回」呼ばれても姿を現さない場合は棄権とする

イ. 「1分or2分ルール」：服装などの違反があった際、それを正すために与えられる

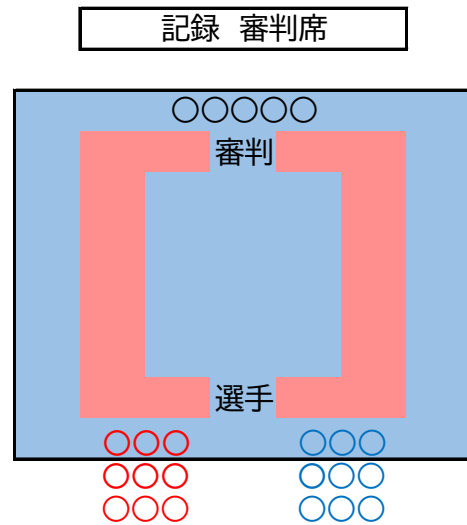
沖縄県中学校夏季総合体育大会 空手道競技

※演武前の例と演武後の礼をしなかった場合は反則となります。

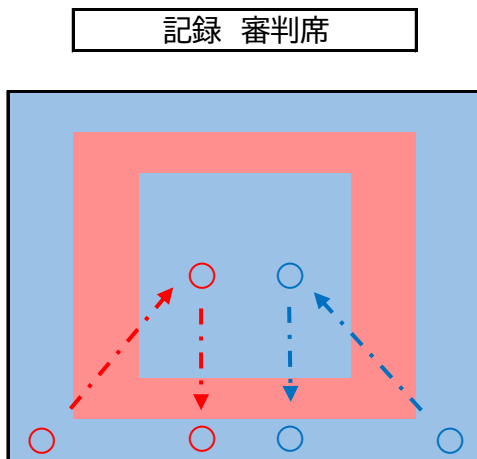
整列(個人形)



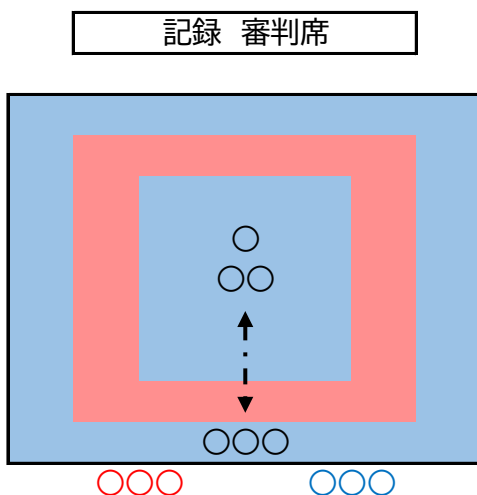
整列(団体形)



入退場(個人形)



入退場(団体形)



①入場後、審判の対面に整列します。
(団体は各校縦列で3名が並ぶ)
監督はコートに入らず、観客席側の待機場所で待機します。

②名前を呼ばれたら、タタミ中央に入場します。
【個人】ななめ入場 【団体】直進入場
※入場前は礼をしない。

③演武位置に立ち、礼をして演武を始める。
※演武前と演武後は必ず礼をしてください。

④判定はコートエンドラインで行います。
⇒次戦の選手(チーム)はマットのコーナー後方で待機します。

⑤団体形について:
前の試合の判定終了後、次戦の赤チームが呼名されます。
赤チームは入場に備えてください。

★個人戦の準々決勝以降は個別演武となります。
入退場は団体形と同様に行ってください。